

意思疎通に係る支援事業実施体系と県内市町村の実施状況について

実施根拠：障害者総合支援法第 77 条、78 条に基づく地域生活支援事業（地域生活支援事業実施要綱）、聴覚障害者情報提供施設、視覚障害者情報提供施設は身体障害者福祉法

| 項 目         |   | 実施主体 |         |     | 必須事業・任意事業の別   | 実施市町村数           |
|-------------|---|------|---------|-----|---|------------------|
|             |   | 県    | 政令市・中核市 | 市町村 |   |                  |
| 手話          | 手話通訳者の派遣  | ○    | ○       | ○   | 必須事業<br>県：広域的、市町村では困難な派遣に対応   | 54市町村（全市町村）<br>県 |
|             | 手話通訳者の養成  | ○    | ○       |     | 必須事業  | 3市、県             |
|             | 手話奉仕員の養成  |      | ○       | ○   | 必須事業  | 40市町村            |
|             | 行政機関への手話通訳者の配置  | ○    | ○       | ○   | 政令市・中核市・市町村：必須事業、県：任意事業   | 31市町、県           |
|             | 手話通訳者ステップアップ研修  | ○    | ○       |     | 特別支援事業  | 2市、県             |
| 要約筆記        | 要約筆記者の派遣  | ○    | ○       | ○   | 必須事業<br>県：広域的、市町村では困難な派遣に対応   | 50市町村<br>県       |
|             | 要約筆記者の養成  | ○    | ○       |     | 必須事業  | 2市、県             |
|             | 要約筆記者養成ステップアップ研修  | ○    | ○       | ○   | 特別支援事業  | 2市、県             |
| 触手話<br>指点字  | 盲ろう者向け通訳・介助員養成  | ○    | ○       |     | 必須事業  | 1市、県             |
|             | 盲ろう者向け通訳・介助員派遣  | ○    | ○       |     | 必須事業  | 1市、県             |
| 聴覚障害者情報提供施設 |   | ○    | ○       | ○   |   | 1市、県             |
| 点字<br>音訳    | 点訳、代筆、代読、音声訳等支援事業   |      | ○       | ○   | 必須事業  | 2市               |
|             | 点訳奉仕員、朗読奉仕員の養成  |      | ○       | ○   | 任意事業  | 4市               |
|             | 点訳奉仕員、朗読奉仕員ステップアップ研修  | ○    | ○       | ○   | 特別支援事業  |                  |
|             | 点字・声の広報等発行  | ○    | ○       | ○   | 任意事業  | 30市町、県           |
| 視覚障害者情報提供施設 |   | ○    | ○       | ○   |   | 1市、県             |
| その他         | 理解促進研修・啓発事業   |      | ○       | ○   | 必須事業  | 25市町             |
|             | 自発的活動支援事業   |      | ○       | ○   | 必須事業  | 11市町             |
| 情報機器等       | 日常生活用具給付等事業<br>（点字器、人工喉頭その他の障害者等の情報収集、情報伝達、意思疎通等を支援する用具のうち、障害者等が容易に使用することができるものであって実用性のあるものの給付又は貸与） |      | ○       | ○   | 必須事業<br>用具例：点字ディスプレイ、点字器、点字タイプライター、視覚障害者用ポータブルレコーダー、視覚障害者用活字文書読上げ装置、視覚障害者用拡大読書器、聴覚障害者用通信装置、人工喉頭、携帯用会話補助装置、ファックスなど | 54市町村（全市町村）      |

※地域生活支援事業実施要綱における特別支援事業：地域生活支援事業実施要綱において、市町村・都道府県の必須事業及び任意事業として定める事業の他、市町村及び都道府県の判断により事業の実施が遅れている地域の支援を行う事業、実施水準に格差が見られる事業の充実等を図るために実施する事業